

高知県消防広域化推進検討委員会

第3回資料

I 将来見通しについて(消防を取り巻く環境)

- 1 各消防本部の管轄人口の予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 各消防本部における高齢化率(65歳以上)の予測・・・・・・・・・・ 2
- 3 救急車の出動件数の予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 消防に係る財政予測(県計)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 5 消防職員数の推移予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
 - (1) 基準財政需要額の推移に基づく予測
 - (2) 平成14年3月の推計人口に基づく予測

II 将来のサービス水準の考察

- 1 消防吏員数による初動体制の変化(全国消防本部の平均に基づく)・・・・・・・・ 12
- 2 消防吏員数による初動体制の変化(基準財政需要額の推計に基づく)・・・・・・・・ 14

I 将来見通しについて(消防を取り巻く環境)

2030年の高知県の人口はどうなっているの？

1. 各消防本部の管轄人口の予測

単位：人

	2005 国勢調査	2010 推計	2015 推計	2020 推計	2025 推計	2030 推計	2005年対比
高知市(春野含む)	348,990	363,723	366,991	366,784	363,642	358,473	102.7%
室戸市	20,876	18,609	16,420	14,285	12,253	10,381	49.7%
安芸市	24,556	23,134	21,694	20,129	18,518	16,946	69.0%
香南市	33,541	34,231	34,130	33,696	32,987	32,045	95.5%
香美市	30,257	29,420	28,448	27,229	25,867	24,419	80.7%
南国市	50,758	52,072	52,018	51,512	50,589	49,355	97.2%
土佐市	30,011	29,173	28,408	27,390	26,233	24,940	83.1%
土佐清水市	17,281	16,517	15,406	14,202	12,960	11,752	68.0%
中芸	12,908	11,729	10,687	9,628	8,637	7,759	60.1%
嶺北	15,036	14,079	12,730	11,395	10,155	9,097	60.5%
仁淀(春野除く)	32,963	32,073	30,706	29,242	27,685	26,070	79.1%
高吾北	28,746	27,232	25,342	23,385	21,408	19,546	68.0%
高幡	66,373	63,280	59,460	55,395	51,278	47,330	71.3%
幡多中央	51,354	50,700	49,099	47,152	44,991	42,790	83.3%
幡多西部	32,642	32,781	31,049	29,159	27,172	25,192	77.2%
県計	796,292	798,753	782,588	760,583	734,375	706,095	88.7%

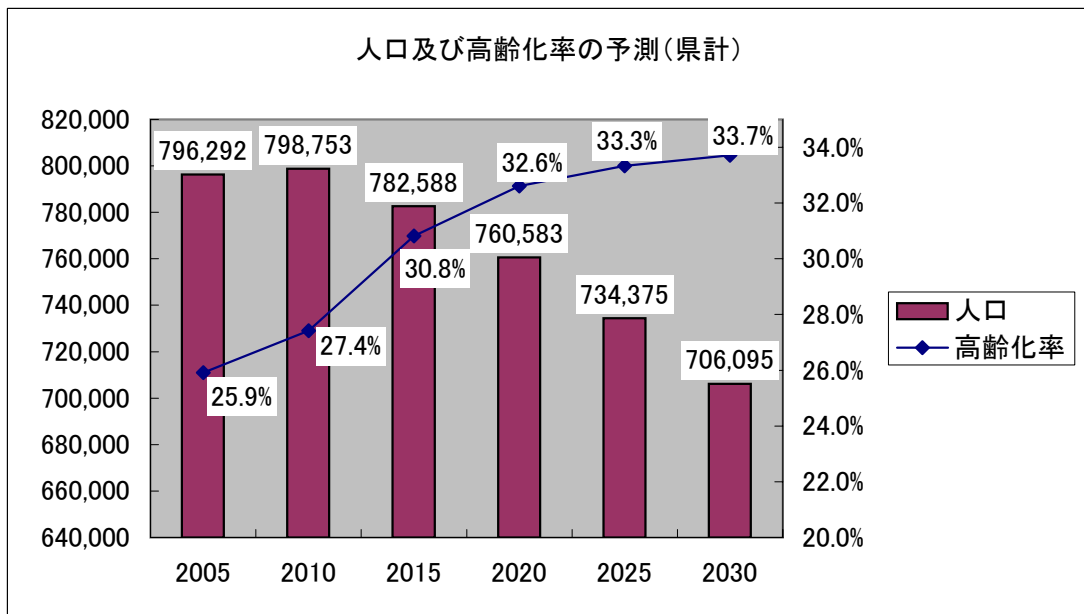
※2010年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」

<速報>

2035推計

	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035
県計	796,292	771,437	741,752	707,630	671,271	634,260	596,229
H14推計との比較	100.0%	96.6%	94.8%	93.0%	91.4%	89.8%	—

※2010年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成19年5月推計)」



高齢者の割合は増えるの？

2. 各消防本部における高齢化率(65歳以上)の予測

単位：%

	2005 国勢調査	2010 推計	2015 推計	2020 推計	2025 推計	2030 推計
高知市(春野含む)	20.8%	22.8%	26.4%	28.1%	28.9%	29.6%
室戸市	33.4%	36.7%	42.7%	46.6%	48.0%	49.3%
安芸市	29.4%	30.6%	35.0%	37.5%	38.4%	38.9%
香南市	25.0%	26.3%	29.5%	30.8%	31.4%	31.9%
香美市	30.8%	33.3%	36.1%	37.5%	37.9%	37.5%
南国市	23.2%	23.8%	26.8%	28.3%	28.8%	29.2%
土佐市	27.1%	28.0%	32.0%	34.1%	34.6%	34.1%
土佐清水市	34.6%	38.4%	43.2%	46.1%	47.1%	46.8%
中芸	34.9%	35.6%	38.2%	40.1%	41.1%	42.2%
嶺北	43.6%	44.4%	46.4%	47.9%	48.6%	48.6%
仁淀(春野除く)	27.5%	29.6%	33.6%	36.2%	38.1%	39.1%
高吾北	36.3%	38.0%	41.1%	43.3%	44.3%	44.4%
高幡	32.3%	33.7%	36.8%	39.2%	40.6%	41.0%
幡多中央	28.4%	29.6%	33.8%	36.2%	37.6%	37.9%
幡多西部	29.1%	30.0%	34.0%	37.1%	39.1%	40.4%
県計	25.9%	27.4%	30.8%	32.6%	33.3%	33.7%

※2010年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」

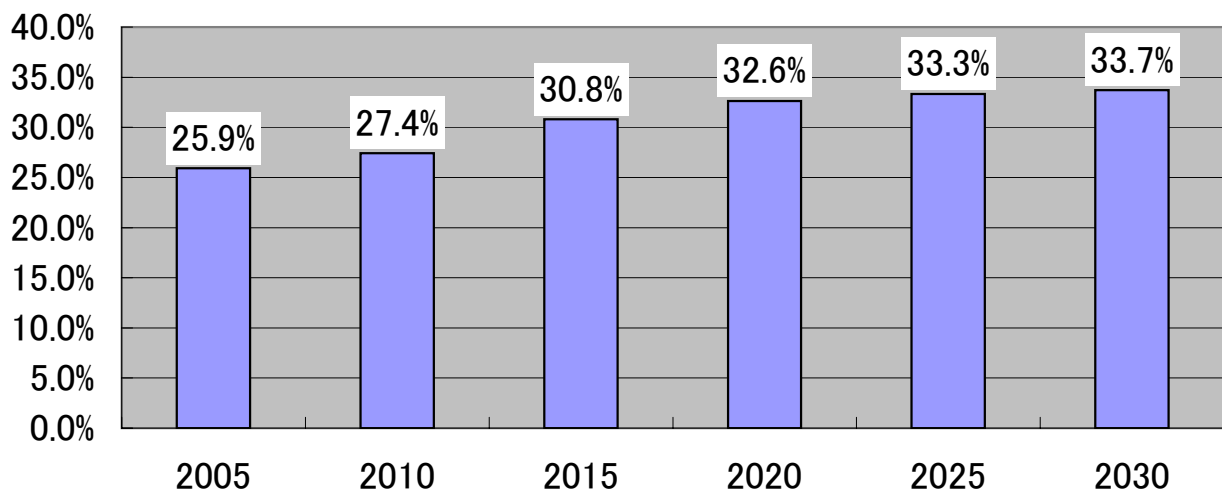
<速報>

2035推計

県全体	25.9%	28.4%	32.3%	34.6%	35.8%	36.7%	37.4%
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※2010年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成19年5月推計)」

高齢化率の予測(県計)

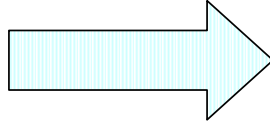


高知県の各消防本部の管轄人口及び高齢化率の予測(まとめ)

2005年

県全体人口 796,292人
県全体高齢化率 25.9%

2030年はこのようになりそうです。



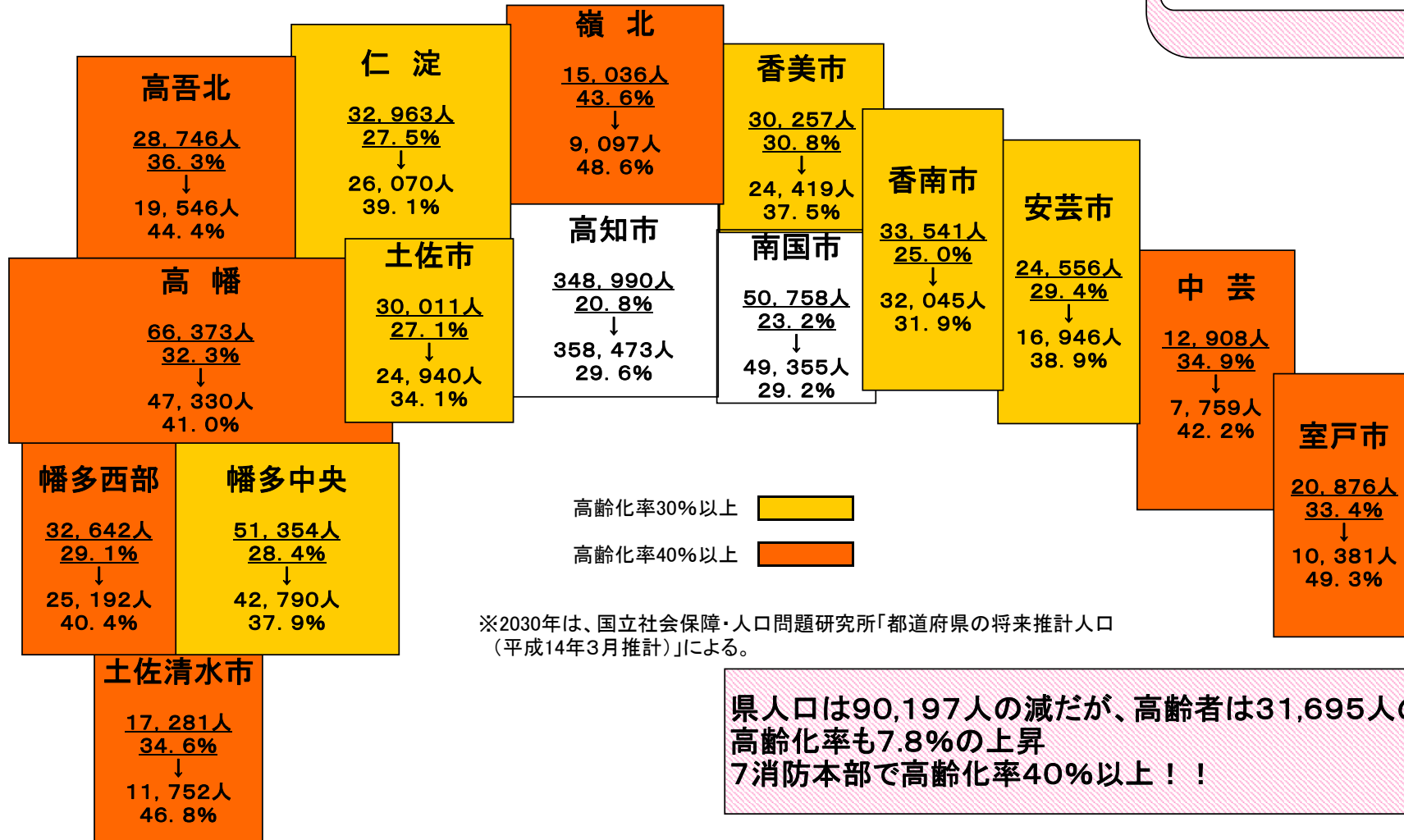
2030年

県全体人口 706,095人
県全体高齢化率 33.7%

平成19年5月推計

2030年

県全体人口 634,260人
県全体高齢化率 36.7%



※2030年は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」による。

県人口は90,197人の減だが、高齢者は31,695人の増
高齢化率も7.8%の上昇
7消防本部で高齢化率40%以上！！

高齢者の人口はどうなっているの？

各消防本部の高齢者(65歳以上)人口の予測

単位:人

	2005 国勢調査	2010 推計	2015 推計	2020 推計	2025 推計	2030 推計	2005年対比
高知市(春野含む)	72,443	82,983	96,758	103,118	105,041	106,221	146.6%
室戸市	6,972	6,838	7,018	6,661	5,885	5,114	73.4%
安芸市	7,220	7,078	7,583	7,542	7,110	6,595	91.3%
香南市	8,391	8,997	10,074	10,395	10,359	10,221	121.8%
香美市	9,329	9,806	10,283	10,218	9,802	9,157	98.2%
南国市	11,786	12,371	13,963	14,593	14,583	14,402	122.2%
土佐市	8,146	8,172	9,094	9,329	9,077	8,499	104.3%
土佐清水市	5,985	6,346	6,663	6,554	6,104	5,503	91.9%
中芸	4,500	4,179	4,086	3,857	3,549	3,271	72.7%
嶺北	6,559	6,246	5,911	5,453	4,939	4,420	67.4%
仁淀(春野除く)	9,079	9,491	10,317	10,579	10,542	10,187	112.2%
高吾北	10,424	10,340	10,420	10,116	9,484	8,673	83.2%
高幡	21,468	21,303	21,879	21,719	20,794	19,385	90.3%
幡多中央	14,581	15,009	16,575	17,083	16,896	16,235	111.3%
幡多西部	9,492	9,821	10,555	10,825	10,633	10,187	107.3%
県計	206,375	218,980	241,179	248,042	244,798	238,070	115.4%

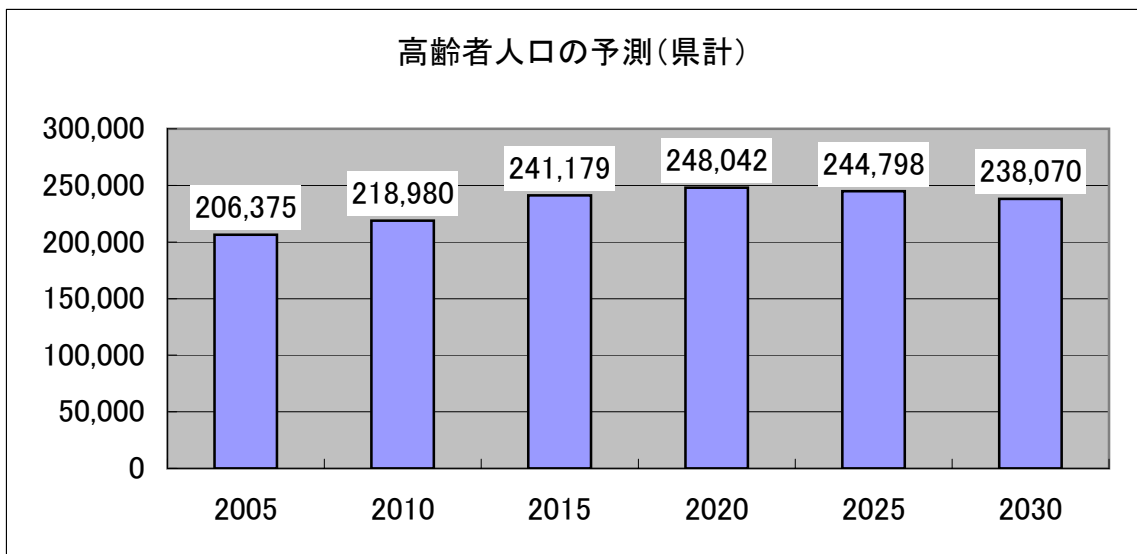
※2010年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」

<速報>

2035推計

県計	206,375	218,857	239,558	244,952	240,434	232,696	222,909
H14推計との比較	100.0%	99.9%	99.3%	98.8%	98.2%	97.7%	—

※2010年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成19年5月推計)」



高齢化率の予測(消防本部・市町村別)

	2005国調	2010推計	2015推計	2020推計	2025推計	2030推計
高知市	20.8%	22.8%	26.4%	28.1%	28.9%	29.6%
高知市	20.5%	22.6%	26.1%	27.9%	28.7%	29.4%
春野町	26.0%	27.3%	31.1%	33.2%	33.6%	34.0%
室戸市	33.4%	36.7%	42.7%	46.6%	48.0%	49.3%
室戸市	32.9%	36.3%	42.5%	46.6%	48.0%	49.2%
東洋町	35.7%	39.0%	43.8%	46.8%	48.1%	49.7%
安芸市	29.4%	30.6%	35.0%	37.5%	38.4%	38.9%
安芸市	29.1%	29.9%	34.0%	36.5%	37.3%	37.9%
芸西村	30.6%	33.8%	39.2%	41.8%	42.9%	43.1%
香南市	25.0%	26.3%	29.5%	30.8%	31.4%	31.9%
香美市	30.8%	33.3%	36.1%	37.5%	37.9%	37.5%
南国市	23.2%	23.8%	26.8%	28.3%	28.8%	29.2%
土佐市	27.1%	28.0%	32.0%	34.1%	34.6%	34.1%
土佐清水市	34.6%	38.4%	43.2%	46.1%	47.1%	46.8%
中芸	34.9%	35.6%	38.2%	40.1%	41.1%	42.2%
安田町	35.2%	34.3%	36.7%	37.7%	37.8%	38.0%
田野町	32.4%	35.0%	37.4%	38.6%	39.5%	41.5%
奈半利町	36.0%	37.0%	40.8%	45.0%	46.8%	48.2%
北川村	38.2%	37.7%	39.4%	39.3%	41.0%	41.5%
馬路村	32.9%	33.7%	35.2%	36.1%	37.0%	38.3%
嶺北	43.6%	44.4%	46.4%	47.9%	48.6%	48.6%
本山町	37.9%	40.2%	42.2%	43.7%	44.6%	44.6%
大豊町	50.8%	50.0%	51.8%	53.5%	54.5%	54.2%
土佐町	40.6%	41.9%	45.0%	46.4%	47.3%	47.7%
大川村	43.7%	44.8%	44.2%	44.0%	44.5%	44.6%
仁淀	27.5%	29.6%	33.6%	36.2%	38.1%	39.1%
春野町						
いの町	27.1%	29.0%	32.9%	35.5%	37.6%	38.9%
日高村	29.4%	32.2%	36.9%	39.3%	40.3%	40.1%
高吾北	36.3%	38.0%	41.1%	43.3%	44.3%	44.4%
佐川町	30.3%	32.0%	35.9%	38.8%	40.4%	41.0%
越知町	38.2%	40.0%	43.7%	45.5%	46.7%	47.0%
仁淀川町	46.2%	48.1%	50.2%	51.7%	51.8%	50.9%
高幡	32.3%	33.7%	36.8%	39.2%	40.6%	41.0%
須崎市	27.8%	30.1%	33.7%	36.5%	38.2%	38.9%
中土佐町	35.1%	35.6%	38.9%	41.5%	42.9%	42.4%
檮原町	36.0%	36.0%	37.4%	38.8%	39.0%	38.3%
津野町	35.9%	36.2%	38.0%	39.1%	39.8%	39.7%
四万十町	35.0%	36.3%	39.6%	42.2%	43.7%	44.5%
幡多中央	28.4%	29.6%	33.8%	36.2%	37.6%	37.9%
四万十市	27.0%	28.2%	32.0%	34.3%	35.4%	35.8%
黒潮町	32.2%	33.7%	39.3%	42.9%	45.1%	46.1%
幡多西部	29.1%	30.0%	34.0%	37.1%	39.1%	40.4%
宿毛市	26.7%	27.7%	31.7%	34.8%	36.6%	38.1%
大月町	35.7%	37.1%	42.2%	46.5%	50.0%	51.3%
三原村	38.3%	37.6%	40.7%	41.7%	43.3%	44.2%
計	25.9%	27.4%	30.8%	32.6%	33.3%	33.7%

3. 救急車の出動件数の予測

65歳未満搬送者数
÷65歳未満人口

65歳以上搬送者数
÷65歳以上人口

65歳未満搬送率(左欄) × 65歳未満の推計人口
+ 65歳以上搬送率(右) × 65歳以上の推計人口

× H17「出動件数」/「搬送件数」

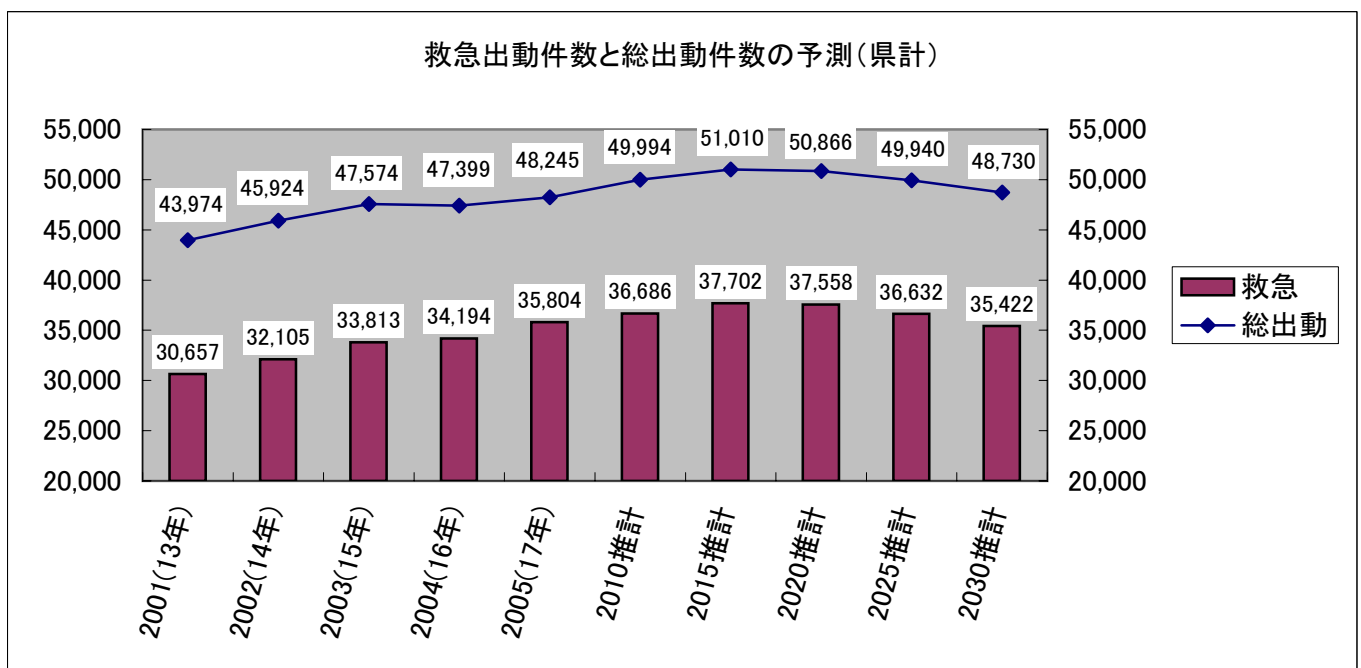
単位: 件

	2005(H17)搬送実績		2005出動 件数実績	2010推計	2015推計	2020推計	2025推計	2030推計
	65歳未満搬送率	65歳以上搬送率						
高知市	2.7%	8.9%	14,213	16,013	17,021	17,437	17,474	17,403
室戸市(東洋町含む)	3.2%	8.8%	1,093	1,008	946	855	743	637
安芸市(芸西村含む)	3.2%	10.5%	1,346	1,295	1,285	1,231	1,145	1,054
香南市	3.0%	9.4%	1,571	1,635	1,702	1,710	1,686	1,648
香美市	3.2%	9.9%	1,630	1,646	1,647	1,603	1,529	1,437
南国市	2.9%	9.1%	2,293	2,391	2,493	2,519	2,490	2,440
土佐市	2.4%	10.3%	1,409	1,386	1,442	1,436	1,387	1,308
土佐清水市	2.3%	7.8%	748	751	742	708	653	590
中芸	2.5%	8.9%	641	589	555	512	465	423
嶺北	3.7%	9.3%	964	906	834	756	678	607
仁淀	2.7%	9.6%	2,291	1,566	1,587	1,565	1,519	1,449
高吾北	2.6%	8.0%	1,387	1,330	1,283	1,212	1,122	1,025
高幡	2.2%	8.0%	2,796	2,733	2,680	2,578	2,428	2,252
幡多中央	2.4%	7.5%	2,015	2,022	2,064	2,043	1,980	1,892
幡多西部	2.4%	8.8%	1,407	1,415	1,421	1,393	1,333	1,257
県計	2.7%	8.9%	35,804	36,686	37,702	37,558	36,632	35,422

国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)」による

県計	2.7%	8.9%	35,804	34,398	34,880	34,293	33,031	31,552
H14推計との比較	—	—	100.0%	93.8%	92.5%	91.3%	90.2%	89.1%

国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口(平成19年5月推計)」による

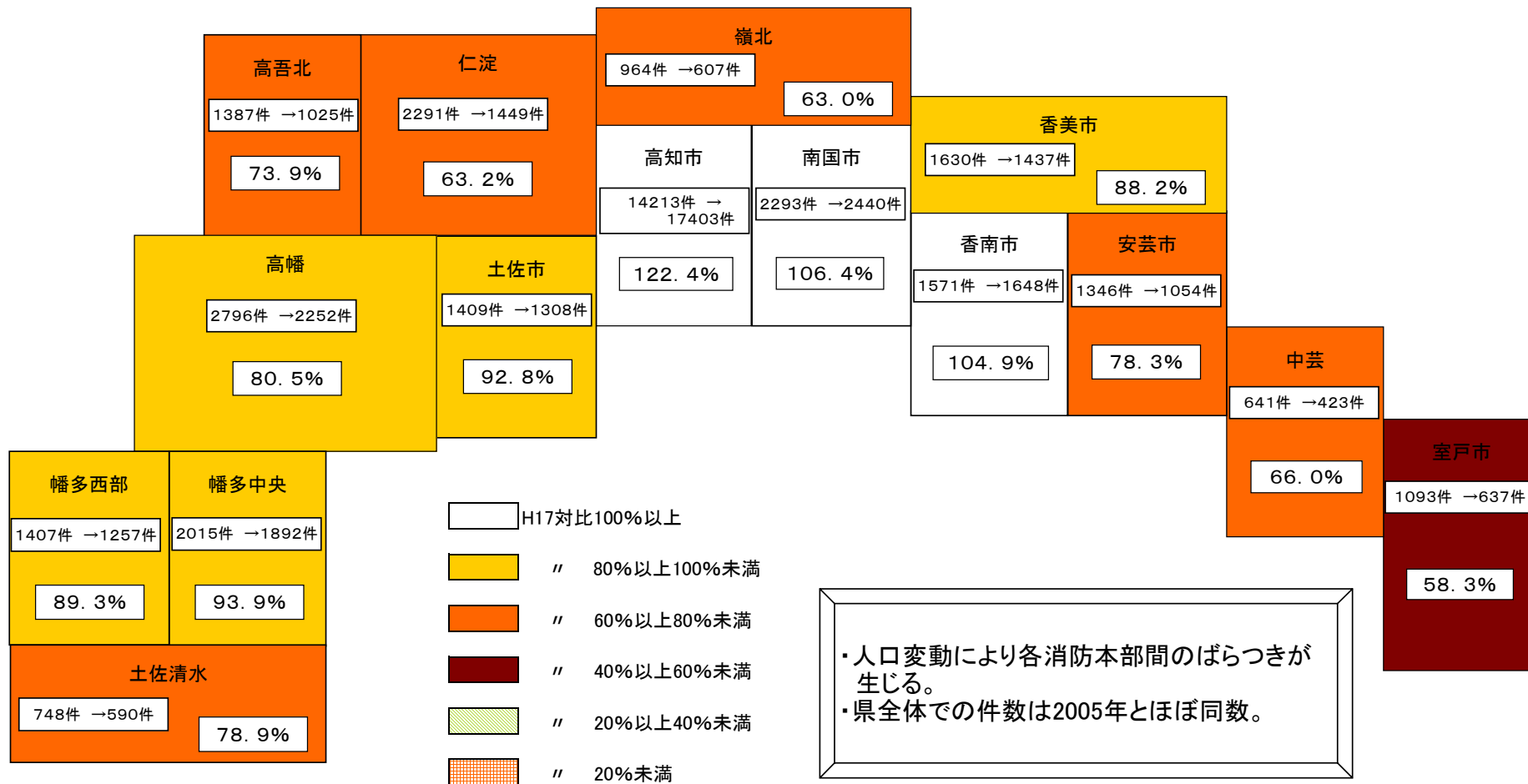


※総出動件数は、H13~H17のその他の出動平均数(13,308件)に推計救急出動件数を合算して算出

救急車の出動回数はこちらのようです。

救急需要の変化(2030年の予測)

2005年総件数 35,804件 → 2030年予測 35,422件



市町村は、どのくらい消防サービスにお金をかけられるの？

4. 消防に係る財政予測(県計)

●H17年度における各種実績値

基準財政需要算定基礎 単位費用	高知県人口	基準財政需要額 市町村合計
10,800円	796,292人	11,712,450千円

●2030年における推計値

基準財政需要算定基礎 単位費用	高知県人口	基準財政需要額 市町村合計
10,800円	706,095人	9,565,891千円

●消防費に係る基準財政需要額からの予測

平成17年度の算定式を用いて、人口に関する部分を推計人口に置き換えて算出をした。

<算定式> 単位費用×段階補正(人口に応じて)×密度補正(人口密度に応じて)×態様補正(出勤等に応じて)

<推計表・県計>

	単位費用	推計人口	予測需要額
2010	10,800円	798,753	10,751,478千円
2015	10,800円	782,588	10,542,442千円
2020	10,800円	760,583	10,258,775千円
2025	10,800円	734,375	9,930,060千円
2030	10,800円	706,095	9,565,891千円

※H13～H17の基準財政需要額と、一般財源決算額の比率はほぼ1である。

2030年の一般財源決算額は約96億円と推計する。この金額は、17年実績から21億円減額(18%減)となる。

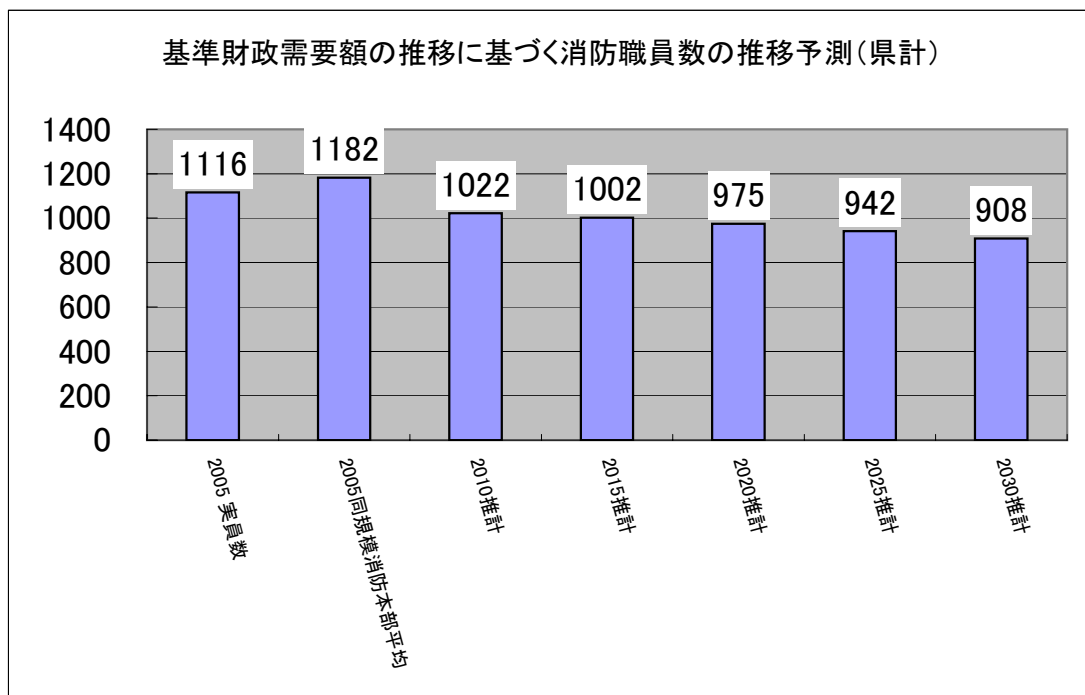
5. 消防職員数の推移予測

(1) 基準財政需要額の推移に基づく予測

単位:人

	2005 実員数 A	2010推計	2015推計	2020推計	2025推計	2030推計 B	B-A
高知市	339	371	375	374	372	366	27
室戸市(東洋町を含む)	49	31	28	25	23	20	-29
安芸市(芸西村を含む)	38	37	35	33	31	29	-9
香南市	41	42	42	42	41	40	-1
香美市	57	42	40	39	38	36	-21
南国市	62	59	59	58	57	56	-6
土佐市	47	37	37	35	34	33	-14
土佐清水市	34	25	24	23	21	20	-14
中芸	36	27	25	23	20	19	-17
嶺北	42	33	31	29	26	24	-18
仁淀	71	48	47	45	43	41	-30
高吾北	49	47	45	43	40	38	-11
高幡	124	102	97	93	88	83	-41
幡多中央	74	71	69	67	65	62	-12
幡多西部	53	50	48	46	43	41	-12
県計	1116	1022	1002	975	942	908	-208

※試算された基準財政需要額×0.768(需要額算定上の基礎数値)÷8,024千円(H17高知県消防職員一人当たり人件費)



財政的視点からは、人口規模の縮小により、2030年には現在より208名の減少が試算される。

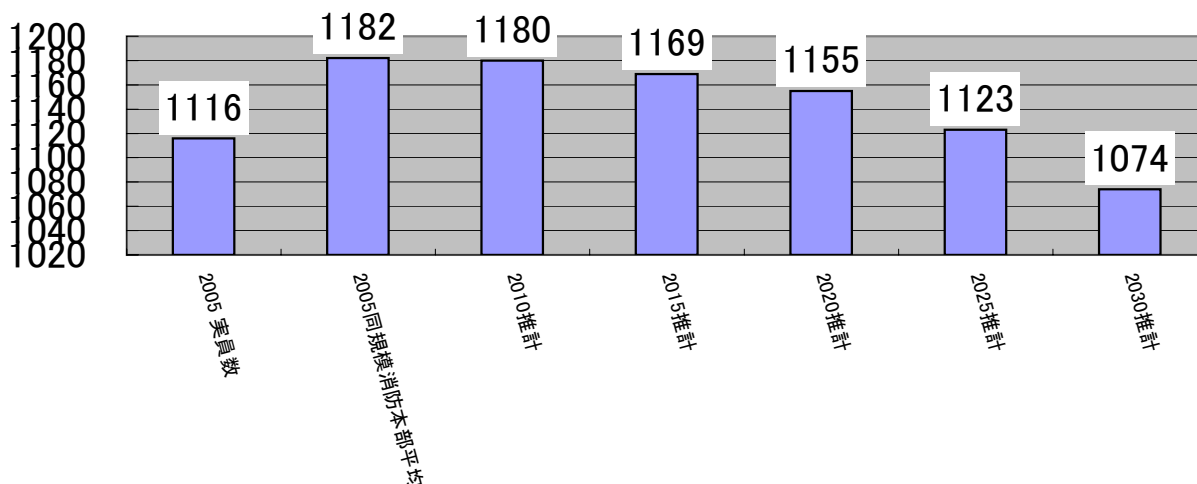
(2) 平成14年3月の推計人口に基づく予測

単位：人

	2005 実員数 A	2005同規模 消防本部平 均	2010推計	2015推計	2020推計	2025推計	2030推計 B	B-A
高知市	337	343	368	368	368	368	363	26
室戸市(東洋町を含む)	49	49	43	40	47	36	39	-10
安芸市(芸西村を含む)	38	50	50	48	49	43	40	2
香南市	41	56	57	57	57	56	55	14
香美市	55	56	55	54	55	54	51	-4
南国市	61	78	82	82	81	78	77	16
土佐市	43	56	55	54	56	54	50	7
土佐清水市	34	42	40	46	47	43	35	1
中芸	36	43	35	39	30	24	20	-16
嶺北	42	46	47	43	35	39	30	-12
仁淀	70	77	55	56	55	56	54	-16
高吾北	49	54	55	50	51	48	48	-1
高幡	123	95	91	85	82	81	76	-47
幡多中央	73	81	78	77	74	75	73	0
幡多西部	52	56	56	57	55	55	50	-2
県計	1103	1182	1167	1156	1142	1110	1061	-42
事務職	13	—	13	13	13	13	13	0
総計	1116	—	1180	1169	1155	1123	1074	-42

※推計人口を基礎に、H17時点の全国の管轄人口が同規模の消防本部の吏員数平均を算出した。

平成14年3月の推計人口に基づく消防職員数の推移予測
(県計)



現在の全国的な状況を前提とすると、2030年における消防職員数は1,070名程度が平均的。

消防力の整備指針に基づく人員と車両の予測※ 本部人員は含まない

算出方法

◇ 消防ポンプ自動車

- ① それぞれ推計された人口をすべて市街地として取扱い「消防力の整備指針」に基づき算出する。
- ② ただし、①の算出に当たっては、「地域の実情」は考慮に入れていない。

◇ 救急自動車

- ・「消防力の整備指針」に基づき算出するが、屋間人口等は考慮せず、人口比率による台数のみの算出とする。

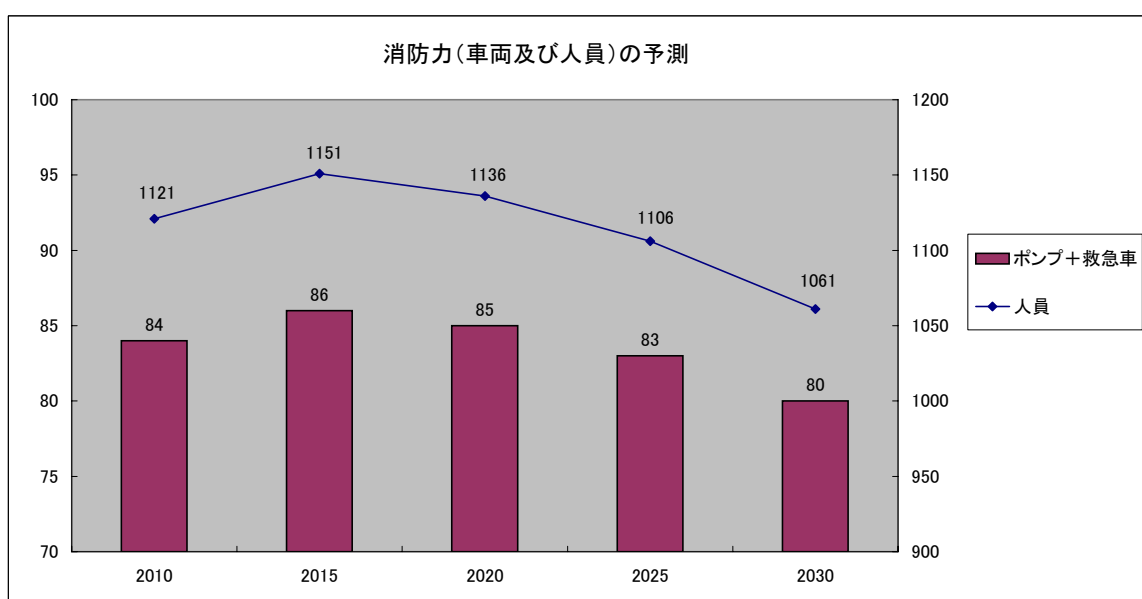
◇ 人員

- ・消防ポンプ車1台につき5人として、2交替制に必要な人員を算出する。
- ・救急車1台につき3人として、2交替制に必要な人員を算出する。

※ 2005年については、現有数及び上記で算出した数値の両方を示すこととする。(現有の人員については、署所の人員であり、兼任を含む。)

※ 基準数は兼任を考慮に入れていない。

	2005 現有数		上記算出方法による基準数											
			2005		2010		2015		2020		2025		2030	
	ポンプ車 + 救急車	人員	ポンプ車 + 救急車	人員	ポンプ車 + 救急車	人員	ポンプ車 + 救急車	人員	ポンプ車 + 救急車	人員	ポンプ車 + 救急車	人員	ポンプ車 + 救急車	人員
高知市	31	224	24	315	26	345	28	376	28	376	26	345	26	345
室戸市	7	43	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39
安芸市	4	23	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39
香南市	4	32	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55
香美市	5	46	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55	3	39
南国市	6	47	6	79	6	79	6	79	6	79	6	79	6	79
土佐市	5	37	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55	3	39
土佐清水市	5	27	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39
中芸	4	27	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39
嶺北	5	32	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39	3	39
仁淀	9	54	6	79	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55
高吾北	5	41	4	55	4	55	4	55	3	39	3	39	3	39
高幡	10	101	8	109	7	94	7	94	7	94	7	94	6	79
幡多中央	7	61	6	79	6	79	6	79	6	79	6	79	6	79
幡多西部	5	43	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55	4	55
県計	112	838	85	1,130	84	1,121	86	1,151	85	1,136	83	1,106	80	1,061

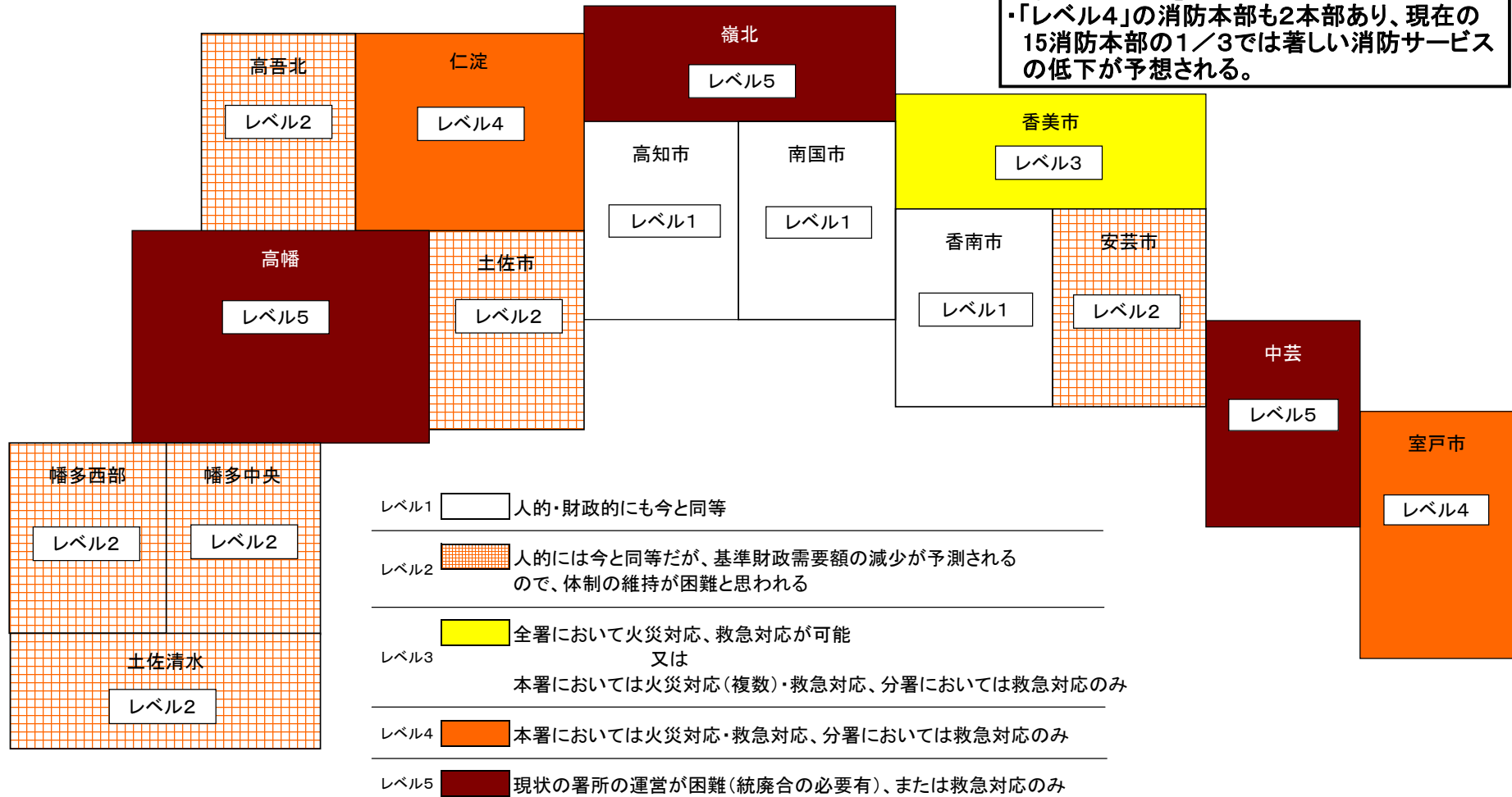


II 将来のサービス水準の考察

2030年の消防サービスはどうなっているの？ パート1

1. 消防吏員数による初動体制の変化(2030年の予測・・・全国消防本部の平均に基づく)

・全国の消防本部の平均職員数で見ても、3本部は「レベル5」が予想される。
 ・「レベル4」の消防本部も2本部あり、現在の15消防本部の1/3では著しい消防サービスの低下が予想される。



- 職員数の減少が予測される消防本部において、2030年の消防吏員予測数で、消防車(4名)及び救急車(3名)を運用できる体制(2交代制)が構築できるかどうかを判断基準とした。

<最低基準数>

火災(複数)・救急対応可	$(3名 + 4名 + 4名) \times 2組 \times 1.515 = 33名必要$	A
火災・救急対応可	$(3名 + 4名) \times 2組 \times 1.515 = 21名必要$	B
救急対応のみ可	$3名 \times 2組 \times 1.515 = 9名必要$	C

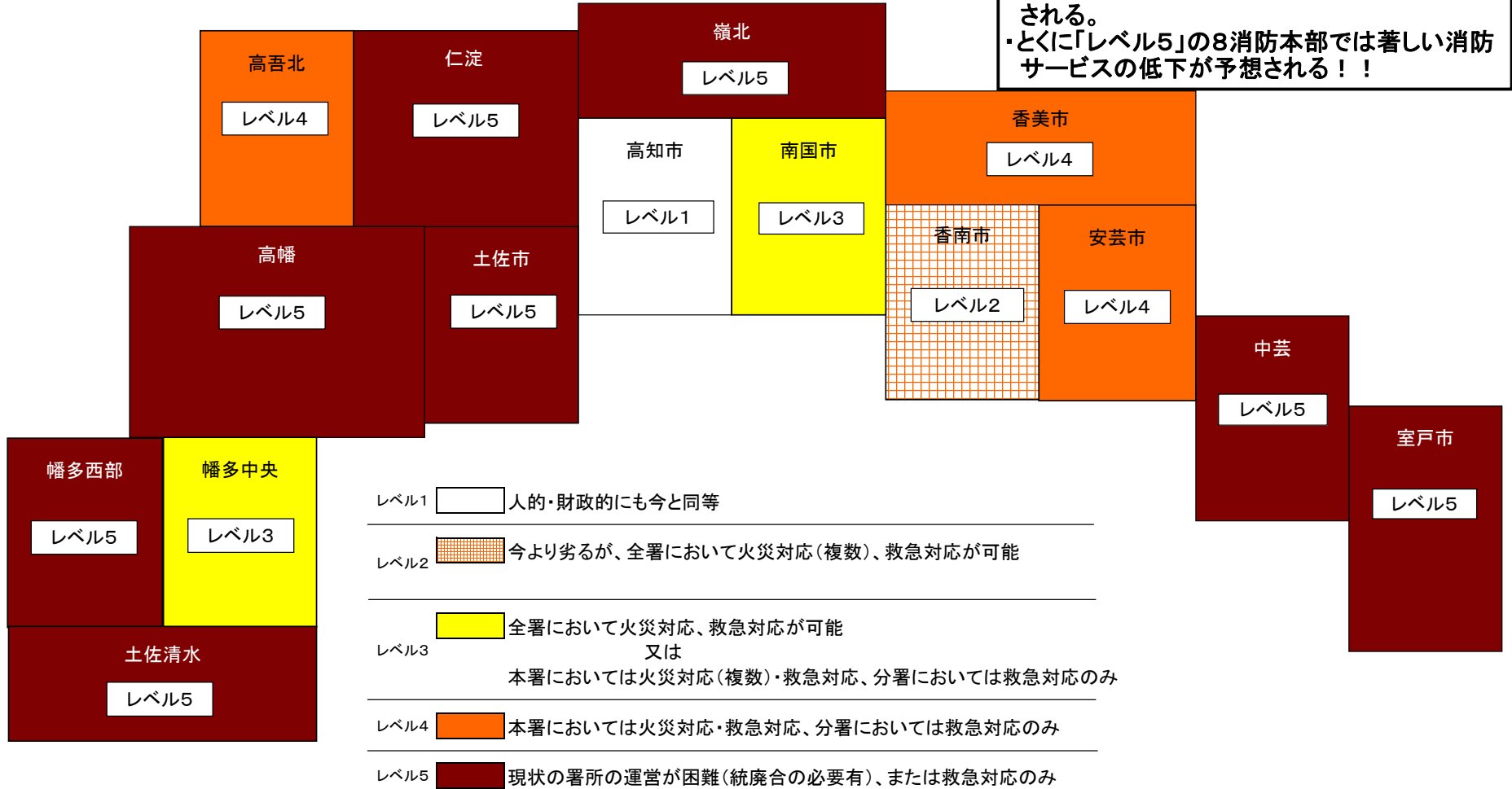
- 予測職員数から、現在の「本部・署の専任職員数」と消防長・署長などの管理職員数を控除し、現場要員数を算出のうえ、その人数で上表の最低基準数が運用できるかどうかを見た。

	2030全職員 予測数	現在の本部職員、 管理職等人数	予想現場要 員数	署所数	結果	レベル
室戸	39	7(4+3)	32	2	B, C	4
香美	51	8(4+4)	43	2	A, C	3
中芸	20	10(7+3)	10	1	C	5
嶺北	30	8(2+6)	22	2	B, - (C, C)	5
仁淀	54	9(6+3)	45	3	B, C, C (A, C, -)	4
高幡	76	21(10+11)	55	6	B, C, C, C, -, -	5

- その他の消防職員数に変化のない(増加する)本部については、今と同等と判断するが、高知市、南国市、香南市以外については、大幅な基準財政需要額の減少が予想されているため、「財政的に厳しい」と判断する。

2030年の消防サービスはどうなっているの？ パート2

2. 消防吏員数による初動体制の変化(2030年の予測・・・基準財政需要額の推計に基づく)



- 職員数の減少が予測される消防本部において、2030年の消防吏員予測数で、消防車(4名)及び救急車(3名)を運用できる体制(2交代制)が構築できるかどうかを判断基準とした。

<最低基準数>

火災(複数)・救急対応可	$(3名 + 4名 + 4名) \times 2組 \times 1.515 = 33名必要$	A
火災・救急対応可	$(3名 + 4名) \times 2組 \times 1.515 = 21名必要$	B
救急対応のみ可	$3名 \times 2組 \times 1.515 = 9名必要$	C

- 予測職員数から、現在の「本部・署の専任職員数」と消防長・署長などの管理職員数を控除し、現場要員数を算出のうえ、その人数で上表の最低基準数が運用できるかどうかを見た。

	2030全職員 予測数	現在の本部職員、 管理職等人数	予想現場要 員数	署所数	結果	レベル
室戸	20	7(4+3)	13	2	C, -	5
安芸	29	10(8+2)	19	1	B'	4
香南	40	10(7+3)	30	1	A'	2
香美	36	8(4+4)	28	2	B, C'	4
南国	56	10(6+4)	46	2	A, C	3
土佐	33	7(4+3)	26	2	B, -	5
土佐清水	20	8(4+4)	12	1	C	5
中芸	19	10(7+3)	9	1	C	5
嶺北	24	8(2+6)	16	2	B', -	5
仁淀	41	9(6+3)	32	3	B, C, - (A, -, -)	5
高吾北	38	6(2+4)	32	2	B, C	4
高幡	83	21(10+11)	62	6	B', C, C, C, C, C	5
幡多中央	62	14(6+7)	48	3	A', C, C (B', B', C)	3
幡多西部	41	7(3+4)	34	3	A, -, - (B, C, -)	5

- 高知市については、消防職員数が増加するため、今と同等と判断する。

高知県消防広域化推進検討委員会

第3回資料

I 将来見通しについて(消防を取り巻く環境)

1 各消防本部の管轄人口の予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

県全体の姿	2005年	→	2030年
人口	79万6千人	から	70万6千人～9万人の減少
高齢者	20万6千人	から	23万8千人～3万2千人の増加
高齢化率	25.9%	から	33.7%～7.8%の上昇

管轄人口が30%以上減少する消防本部：6本部
室戸市(△51.3)、中芸(△39.9)、安芸市(△31.0)、
嶺北(△39.5)、高吾北(△32.0)、土佐清水市(△32.0)

2 各消防本部における高齢化率(65歳以上)の予測・・・・・・・・・・ 2

高齢化率が40%以上になる消防本部：7本部
室戸市(49.3)、中芸(42.2)、嶺北(48.6)、高吾北(44.4)、
高幡(41.0)、幡多西部(40.4)、土佐清水市(46.8)

3 救急車の出動件数の予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

2005年も2030年も救急車の出動件数は県全体としてはほぼ同じ
だが、人口変動により各消防本部間ではばらつきがある
高知市 122.4% 室戸市 58.3%

4 消防に係る財政予測(県計) 8

2030年には2005年と比べて21億円もの減額(18%減)
↓
消防を支える体力が落ちていく

5 消防職員数の推移予測 9

2005年		2030年
1116人	→	908人(基準財政需要額の予測から)
		1070人(全国の平均的な状況から)

II 将来のサービス水準の考察

1 消防吏員数による初動体制の変化(全国消防本部の平均に基づく) 12

現在の15消防本部のうち1/3にあたる5消防本部では、現状の署所運営が困難となったり(統廃合の必要性)、分署においては救急サービスのみの提供になるなど、著しい消防サービスの低下が予想される。

2 消防吏員数による初動体制の変化(基準財政需要額の推計に基づく) 14

現在の15消防本部のうち2/3にあたる10消防本部では上記と同様の著しい消防サービスの低下が予想される

<留意事項>

- ・ 以上の試算は、国立社会保障・人口問題研究所の14年推計に基づくものであり、19年推計では人口減少が10年程度加速している。
- ・ 国の財政再建により、消防費を支える地方交付税の総額が抑制傾向にあり、人口減少の進展と相まって、試算額以上に厳しい財政状況も予測される。